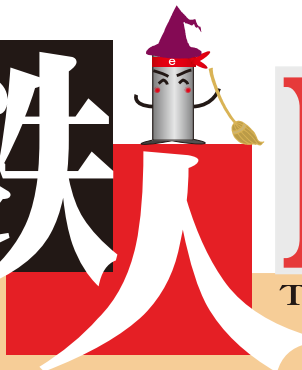


鉄人



NEWS

THE TETSUJIN NEWS

株式会社東部がお届けするインフォメーション・レター

発行所 株式会社東部鉄人ニュース事務局
 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
 TEL.042-764-4128
 FAX.042-762-9593
 編集 鈴木木子
 http://www.tobu21.co.jp

Vol.38
 2013
 10月号

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

だから選ばれる…鋼管杭基礎『e-pile』!



某事務所棟新築工事

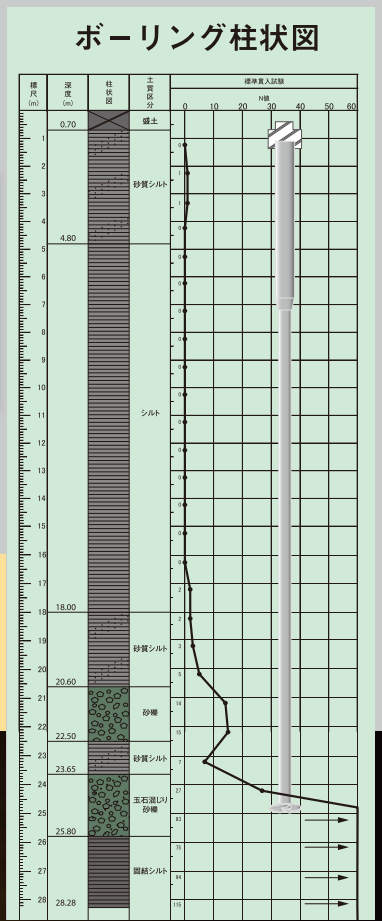
工事名	某事務所棟新築工事
施工地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区
用途	事務所
構造	鉄骨造(S)
階数	地上3階



杭の種類 φ190.7mm-(拡頭径)φ267.4mm L=24.0m Dw400mm 5set
 φ190.7mm-(拡頭径)φ267.4mm L=24.0m Dw500mm 3set

今回は、現地地盤調査結果から深度16.0m程まで柔らかいシルト層が確認されており、杭頭上部にかかる負担水平力、建築規模等を考慮し、安全かつ経済的な杭種の選定が求められました。競合メーカー様では下杭・中杭・上杭と全て同一杭径で提案していた中、e-pile工法では自信をもって提案させて頂いた拡頭構造の安全性と経済性を高く評価頂き、採用して頂きました。

元請様には搬入路の確保等ご協力いただき安全且つ無事に工事を完了することが出来ました。

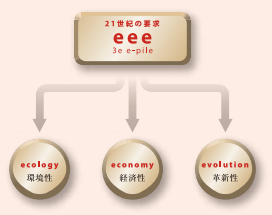


環境性、経済性、革新性で選ばれる「e-pile」。

国土交通省大臣認定工法



3e
 e-pile工法は鋼管杭の特徴である長い支持力性、安全性、高品質、短工期などの優位性の他、3eをテーマとしたecology (環境性)、economy (経済性)、evolution (革新性)を兼ね備えた21世紀型の最良工法です。



エコマーク認定

e-pileはエコマーク認定商品です。「エコマーク認定」は、財団法人日本環境協会が商品の環境性能を評価し、「環境保全」に役立つものとして厳しい審査をクリアしたもののだけが与えられる称号です。



排土量が少ない鋼管杭
 エコマーク認定番号
 第08131022号

鋼管杭基礎総合メーカー
Tobu, 株式会社 東部
<http://www.tobu21.co.jp>



鋼管杭基礎総合メーカー
Tobu, 株式会社 東部
<http://www.tobu21.co.jp>

- 本社
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5
 TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971
- 地盤評価センター
 TEL.042-785-2811 FAX.042-785-2810
- 施工管理センター
 TEL.042-764-4122 FAX.042-762-8975

- 相模原機材センター
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1285-1
 TEL.042-785-2812 FAX.042-785-2813
- 本店/ 経理室
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
 TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593



平成25年9月30日に平成25年8月分の建築着工統計調査報告が公表されました。

新設住宅着工戸数

8月の住宅着工は、持家・貸家・分譲住宅ともに増加したため全体で増加となった。

総戸数

- 新設住宅着工戸数は 84,343 戸。(前年同月比 8.8%増、12 か月連続の増加。)
- 新設住宅着工床面積は 7,598 千㎡。(前年同月比 9.9%増、12 か月連続の増加。)
- 季節調整済年率換算値では 960 千戸。

利用関係別戸数

- ①持家
 - 持家は 31,379 戸(前年同月比 11.2%増、12 か月連続の増加)
 - 公的資金による持家は減少したが、民間資金による持家が増加したため持家全体で増加となった。
- ②貸家
 - 貸家は 29,548 戸(前年同月比 7.0%増、6 か月連続の増加)
 - 公的資金による貸家は減少したが、民間資金による貸家が増加したため貸家全体で増加となった。
- ③分譲住宅
 - 分譲住宅は 23,042 戸(前年同月比 8.5%増、4 か月連続の増加)
 - マンションが増加し、一戸建住宅も増加したため分譲住宅全体で増加となった。

建築物の着工床面積【民間非居住建築物】

事務所・店舗・工場は減少したが倉庫が増加したため、全体で増加となった。

全建築物の着工床面積は1,260万㎡、前年同月比7.7%増。(7月は12.9%増)

- 12 か月連続の増加。
- 公共の建築主は 78 万㎡(前年同月比 7.0%増、2 か月連続の増加)
- 民間の建築主は 1,182 万㎡(同 7.7%増、12 か月連続の増加)

民間建築主

- 居住用は 791 万㎡(前年同月比 10.6%増、12 か月連続の増加)
- 非居住用は 391 万㎡(同 2.3%増、7 か月連続の増加)

①用途別

- ・鉱業・採石業・砂利採取業・建設業用は 6 万㎡(前年同月比 7.1%増)
- ・金融業・保険業用は 5 万㎡(同 42.1%増)
- ・医療・福祉用は 97 万㎡(同 56.5%増)
- ・その他のサービス業用は 35 万㎡(同 1.0%増)

②使途別

- ・倉庫は 62 万㎡(同 44.8%増、2 か月連続の増加)

詳しくは国土交通省のホームページをご確認ください。

ワンポイント 健康コラム

食欲の秋!!旬を取り入れた食生活にトライしよう♪



旬の食材

四季の旬の食材について、出回り期とその時期での成分の違いを解説します。ここでは、秋と冬の食材について取り上げてみようと思います!

わが国、日本では、古来より四季を通して「旬を楽しむ」という他国にはあまりみられない風習があります。

「旬(しゅん)」とは、ある特定の食材において、他の時期よりも新鮮で美味しく食べられる時期をいいます。また旬の物はよく市場に出回るため値段も安価になりやすく、消費者にも嬉しい時期なのです。出盛り期とも言ったりします。

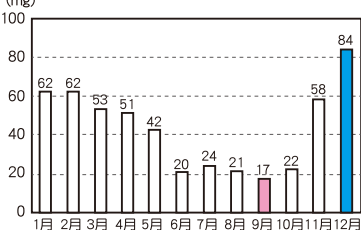
秋(8月～10月)の旬の野菜

銀杏(ぎんなん)、栗、ゴボウ、さつまいも、里芋、松茸

冬(11月～1月)の旬の野菜

かぶ、小松菜、大根、長ネギ、白菜、ほうれん草、百合根 などがあります。

ほうれん草のビタミンC含有量の月別比較(図1)



ほうれん草などは、店頭で一年中並んでいますが、出回り最盛期とそれ以外の時期では、栄養成分にどの程度の差があるかを見てみましょう。実験は、東京とその近郊の5店舗において毎月、店頭でよく売れている品種、そしてより新鮮なほうれん草を1年間分析しました。

その結果の一部として、**ビタミンCを100g当たりで比較してみると、出回り期の12月では84mgあるのに対して、9月には17mgでした。出回り期と比較して約5分の1の結果となっています(図1)。**1年間を通しての平均値は、43mgでした。

これらの結果から、皆さんもよくご存じの食品成分表(正式には、五訂増補日本食品標準成分表といえます)において、ほうれん草(06267)のビタミンC含有量は、年間平均(35mg)の他に備考欄に冬採り(60mg)、夏採り(20mg)となっています。同じほうれん草を100g食べたとしても、その食べる時期によって、ビタミンC摂取量が変化することを考慮しているわけなのです。

野菜や果物は出回り期が長く、1年中手に入れることが出来ますが、やはり旬を考慮し、より美味しく、より栄養価の高い季節感のある献立を心がけるようにしましょう。

さあ!今夜のメニューは、何にしますか?!

参考:厚生労働省



経理マンが行く



葬儀のマナー

セミの鳴き声も少なくなり、秋らしくなってきました。ここ最近では紅葉の時期が遅くなったと言われています。これも温暖化の影響なのでしょう。

さて、今回は葬儀のマナー特集です。なんとも嫌な響きですが、最後の幕引きに向かう訳ですからお祝いの席よりも様々なシーンが心に残るものです。恥ずかしい思いをしないように今一度おさらいしてみましょう。

不幸の知らせをもらったら・・・

近親者や友人の方達・・・すでに「危篤」の知らせで駆けつけた人は、そのまま悲しみで力を落としている遺族を助ける立場に回ります。動きやすい服装で結構です。女性は弔問客に備えて台所の事、部屋の片づけなど、男性は近親者などの連絡、走り使いや力仕事などにあたります。電話連絡等で急を知った親せき、友人、同僚、部下などは、とにかく、駆けつけます。急な事もあって、通知がもれることも考えられますが、通知がなくても、不幸を知ったら駆けつけましょう。遺族にお悔みをのべ、「一目会ってやってください」と言われたら、静かに対面します。遺族の前で弔問客がとり乱すことはマナーに反します。又、できればお手伝いを申し出ましょう。しかしその場の具合でお断りがあったら、静かに引きあげ、また通夜に出直すようにします。

近所の方達・・・遺族にとっては、普段親しくしている近所の方達の協力はとても心強いものです。近親者同様、お手伝いに回ります。買い物、小さな子の子守、足りない食器等、不自由なものがあつたら、率先して貸してあげましょう。特に親しい関係でなければ、お悔みをのべてすぐに引きあげ、改めて告別式に参列してください。

遠方の方達・・・近親者ならすぐに支度をして駆けつけます。「いつ行くか」を伝え、簡単に用件を述べます。とにかく取り込み申すから、わざわざ遺族を呼び出すようなことはしないこと。事情があつてすぐに行けないようなときは、取り急ぎ申電を打ちます。

香典の持参時期・・・香典は通夜か葬儀・告別式のときに改めて持って行って構いません。まだ亡くなったばかりで気持ちの準備もできていない場合に、用意していたかのように持参するのは遺族側の心情を考えるとよしくありません。また弔問客も多いとお金の行方が判らなくなる場合もありますのでなるべく避けましょう。遅れて不幸を知った場合は、すぐにお悔みに伺います。告別式や埋葬の済んだ後ならば、祭壇、仏壇、お墓に香を手向けて冥福を祈り、遺族には、遅れたお詫びとお悔みの言葉をのべ、このときに香典、供物などをお渡します。

弔問の服装・・・不幸の知らせを聞き、すぐに駆けつける時は、喪服を着る必要はありません。状況にもよりますが、地味な服装なら、普段着のままでもいいでしょう。とにかく駆けつけてきたんだという意志表示になりますし、なにより弔問に駆けつけてきてくれた事自体が遺族にとって心強いこととなります。

弔問の時間・・・昔は通夜という文字通り夜を通して行われましたが、今は半通夜といって、夕方六時～2時間程で終わり、外からの弔問客が退出した後、遺族・近親者で静かに故人を見守るというのが一般的になっています。読経の前に弔問し、あまり遅くならないように退席しましょう。

今回は通夜から告別式までのマナーをおさらい致します。